

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
道徳教育の理論と方法	講義	1	中西 一成

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

複雑で多様化する価値観の時代において、未来を生き抜く力が求められている。それ故、命と人権を尊び人間らしい生き方を探究する道徳力は時代の羅針盤とも言える。今回の学習指導要領の改訂では、従来の読み物資料による道徳的な心情や態度などの深い学びと共に、現代の課題に対する問題解決力や考え議論する道徳への移行が求められている。幅の広い道徳の授業力を身につけることを本授業の目標とする。

【授業の概要】

道徳は特別の教科「道徳」となり、積極的に道徳の授業ができる教員が求められている。児童から道徳の授業が楽しみだと言われる教員になるための授業力育成の時間としたい。そのために道徳教育全体の流れや道徳の時間の目標、内容、その方法などの理論を身につけ、魅力ある授業を構想する実践練習を行う。

【全体の授業計画・内容】

1 「道徳とは何か。」道徳教育の歴史と今回の学習指導要領改訂による特別な教科「道徳」について理解する。

事前学修課題：「学習指導要領解説 特別な教科道徳編」の該当箇所を読む【0.5時間】

事後学修課題：配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5時間】

2 道徳の授業の展開と構成要素について理解する。

事前学修課題：「学習指導要領解説 特別な教科道徳編」の該当箇所を読む【0.5時間】

事後学修課題：配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5時間】

3 道徳の授業に使う資料について理解を深める。(身の周りのものを資料化する。)

事前学修課題：「学習指導要領解説 特別な教科道徳編」の該当箇所を読む【0.5時間】

事後学修課題：配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5時間】

4 小学校読み物資料を使った道徳授業を児童の立場で体験する。

事前学修課題：前時に指示した3つの資料を読む【0.5時間】

事後学修課題：道徳体験授業の内容を各自でまとめる【0.5時間】

5 小学校読み物資料を使った道徳授業の学習指導案を作成する。

事前学修課題：前時に指示した3つの資料を読む【0.5時間】

事後学修課題：資料を使った3つの学習指導案をまとめる【0.5時間】

6 道徳資料をさがし教材化する。グループで資料分析する。これをもとに指導案を作成する。

事前学修課題：教材となる資料をさがしコピー5部を持参する【1.0時間】

事後学修課題：自分が提案した教材を使った道徳指導案をつくる【0.5時間】

7 模擬授業を行い、その振り返りを通して授業改善をおこなう力を身につける。

事前学修課題：自分の道徳指導案のコピー5部を持参する【0.5時間】

事後学修課題：模擬授業の相互評価の結果をまとめる。【1時間】

8 道徳の学習評価の方法を理解する。

事前学修課題：「学習指導要領解説 特別な教科道徳編」の該当箇所を読む【0.5時間】

事後学修課題：配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5時間】

一斉試験

【学習のあり方】

予習のあり方：前時に配布した道徳資料は必ず目を通し道徳授業の構想をまとめておく。

授業のあり方:小学校において教師として授業を実際に行う自覚で、講義に参加する。

復習のあり方:教材毎に指導案を立て検討する。

【成績評価】

授業態度(15%)、中間レポート(35%)、到達度試験(50%)

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

提出したレポートに赤色でコメントを入れる。

授業後に質問を聞く時間を設ける。

【テキスト】

文部科学省「小学校学習指導要領解説 道徳編」

文部科学省「小学校道徳読み物資料集」

【参考文献】

横山利弘監修「楽しく豊かな道徳の時間をつくる」ミネルヴァ書房

【実務経験の有無】